



海遊館

メディア関係者各位

こころが、フフフ



2026 年 1 月 8 日
株式会社海遊館 広報チーム
〒552-0022 大阪市港区海岸通 1-1-10
TEL:06-6576-5529
(担当: 田井、澤)

環境啓発イベント

ぐるぐる発見！みんなで一緒にサステナブル ～サンゴ・わたし・暮らし・地球のつながりを知ろう～

1/25（日）開催。小学生以上 150 名を募集

海遊館（大阪市港区）は、国連環境計画（UNEP）、ケアンズ観光局との共同で、2026 年 1 月 25 日（日）に環境啓発イベント「ぐるぐる発見！みんなで一緒にサステナブル～サンゴ・わたし・暮らし・地球のつながりを知ろう～」を開催し、これに参加する小学生以上 150 名を募集いたします。

本イベントは、「いのちの循環」「資源の循環」「暮らしの循環」「都市の循環」を参加者に伝えることで、自分の身の回りの物事の循環（＝ぐるぐる）に気づき、そのつながりとサステナブルな未来を考えていただくことを目的に開催するものです。海遊館、UNEP、ケアンズ観光局、さらには大阪公立大学からも環境政策論の専門家をお招きし、各々が取り組む“循環”について、それぞれの視点・立場から参加者にお話しします。

- ・海遊館：サンゴを通じた「いのちの循環」について
- ・UNEP：世界を変えるゴミの資源循環について
- ・ケアンズ観光局：ケアンズという地域が持つ「人と自然が循環する都市モデル」について
- ・大阪公立大学：大阪湾のゴミと私たちのくらしのつながりについて

また、UNEP サステナビリティアクションアドバイザーを務める芸人・プロデューサーの古坂大魔王さんをお招きし、トークセッションだけでなくクイズも交えて楽しくわかりやすくお伝えします。

本イベントでは、“循環”についてそれぞれ伝える三者が共働し、参加者に“循環＝ぐるぐる”というわかりやすい概念を届けることで、子どもから大人までそれぞれが自然や社会を「自分ごと」として捉え、行動への一歩を踏み出すきっかけとなることを目指しています。

別紙にて、開催概要をお知らせいたします。



古坂大魔王さん

【 本件に関するマスコミ各社からの問い合わせ先 】

イベント当日の取材・撮影をご希望の方は、1 月 23 日（金）17:30 までにご連絡ください。

海遊館 広報チーム 06-6576-5529（平日 9:00～17:30）

※本資料の提供先：大阪市政記者クラブ、及び弊社プレスリリース提供希望のメディア関係各社

【開催概要】

- タイトル：「ぐるぐる発見！みんなで一緒にサステナブル～サンゴ・わたし・暮らし・地球のつながりを知ろう～」
- 開催日時：2026 年 1 月 25 日（日）13:00 ～ 15:00
- 開催場所：海遊館ホール
- 対象人数：小学生以上（高学年以上推奨）150 名
※小学生・中学生のご参加には 18 歳以上の保護者同伴が必要
- 料 金：無料 ※海遊館へのご入館には別途入館料が必要です
- 応募方法：海遊館公式ホームページにて募集。※定員達し次第締め切りとなります。
- 共同開催：(株)海遊館、UNEP（国連環境計画）、ケアンズ観光局
- 協 力：大阪市環境局、(公財)地球環境センター、大阪公立大学
- スケジュール

【前半：講義】

- 13:00 開会のご挨拶（海遊館館長 村上 寛之）
- 13:05 講義①「いのちのぐるぐる — サンゴがつむぐ海のものがたり」
講師：海遊館館長 村上 寛之
- 講義②「地球はひとつ — ゴミのその先に何がある？ぐるぐる社会のヒミツ！」
講師：UNEP 本多 俊一さん
～ぐるぐるクイズ（1～2 問）～
- 講義③「暮らしのぐるぐる — 大阪湾のゴミと私たちの暮らしのつながり」
講師：大阪公立大学准教授 千葉 知世さん
- 講義④「都市のぐるぐる — 世界遺産の街・ケアンズにおける人と自然の共生～」
講師：ケアンズ観光局 坂本 サムさん
- 14:10 休憩（10 分）
- 【後半：トークセッション&クイズ】
- 14:20 司会：古坂大魔王さん、本多さん、 パネリスト：千葉さん、坂本さん、村上館長
- 14:40 ぐるぐるクイズ（4 問）司会：本多さん、古坂大魔王さん
- 14:55 終了

【登壇者プロフィール】

■古坂大魔王

1992 年お笑い芸人「底ぬけ AIR-LINE」でデビュー。ピコ太郎プロデューサー。文部科学省・CCC 大使、UNEP サステナビリティアクションアドバイザー。現在は、バラエティ番組をはじめ、コメンテーターとして情報番組への出演、世界のトップランナーと音楽、エンターテインメント等についてトークセッションを行うなど、幅広い分野で活躍中。



■村上 寛之

株式会社海遊館飼育展示部長兼海遊館館長。

近畿大学農学部水産学科を卒業後、株式会社海遊館に入社。“日本の森”の植物、野鳥と昆虫類（当時）や、ペンギンやカワウソなど小動物の飼育展示の経験を経て、2010 年から広報担当として、取材対応やテレビ CM、ポスター広告を通じて海遊館の魅力を発信。2022 年 7 月から海遊館館長を務める。



■本多俊一

国連環境計画（UNEP）で、世界の廃棄物問題や資源循環の仕事をしている専門家。日本や世界の国々と協力しながら、「ゴミを減らして、いのちと地球を守るしくみ」をつくる仕事をしている。



■坂本 サム（Sakamoto Sam）

ケアンズ観光局 Sales & Marketing Manager - Asia & Education

三重県松阪市出身。2004 年にオーストラリアへ移住。ツーリズム関連のマーケティング会社勤務を経て、2008 年に先住民族文化を紹介する「ジャブカイ・アボリジナルカルチャーパーク」にアジア担当セールス&マーケティング・グマネージャーとして入社。その後、ディレクター・オブ・セールスを務める。2014 年よりケアンズ観光局に入局。日本市場を担当後、担当エリアを拡大し、現在は日本・韓国・インド・東南アジアおよび教育部門を統括。マーケティングを軸に、地域の認知向上に携わっている。プライベートでは水泳のボランティアコーチとしても活動中。



■千葉知世

大阪公立大学現代システム科学研究科 准教授。専門は環境政策論。

幼少期に見た原油流出事故の映像が忘れられず、環境保全の仕事を志す。京都大学大学院地球環境学舎博士課程を修了後、29 歳で大学教員の道に。35 歳で NGO を設立し、大阪湾のごみ問題に取り組む。8 歳と 4 歳の育児をしながら、美しい自然を子どもたちに残すため奮闘中。



（以 上）